

2020年3月期第2四半期決算 ～今後の経営展望について～

2019年11月12日

株式会社ヤクルト本社

代表取締役社長

根岸 孝成

2020年3月期 第2四半期連結業績(累計)



(図1)

(単位:億円)

	実績 (うち、為替影響額)	当初業績予想 (5月14日発表)	当初業績予想比	前年実績	前年実績比
売上高	2,019 (▲28)	2,110	95.7%	2,035	99.2%
営業利益	237 (▲5)	255	93.1%	237	99.7%
経常利益	303 (▲6)	315	96.2%	295	102.7%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	206 (▲5)	200	103.3%	213	96.9%

為替影響額は対前年実績

2020年3月期 通期業績予想(連結)



(単位:億円)

	修正業績予想 (うち、為替影響額)	当初業績予想 (5月14日発表)	当初業績予想比	前年実績	前年実績比
売上高	4,090 (▲47)	4,200	97.4%	4,070	100.5%
営業利益	460 (▲12)	485	94.8%	458	100.3%
経常利益	580 (▲14)	595	97.5%	571	101.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	390 (▲11)	365	106.8%	349	111.6%
1株当たりの 当期純利益	(円 銭) 243.46	(円 銭) 227.80		(円 銭) 217.89	

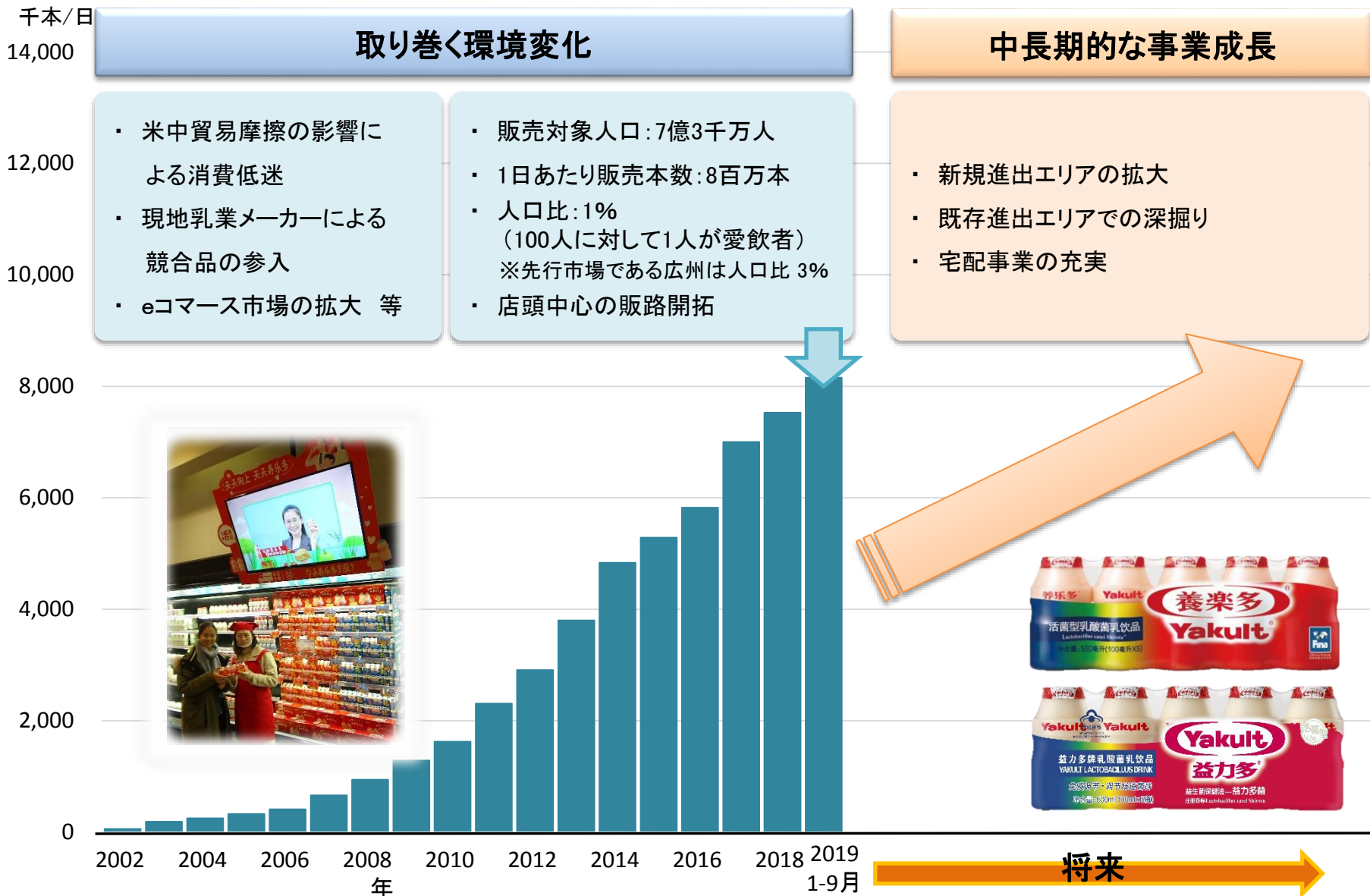
為替影響額は対当初業績予想

国際事業(各国販売実績)

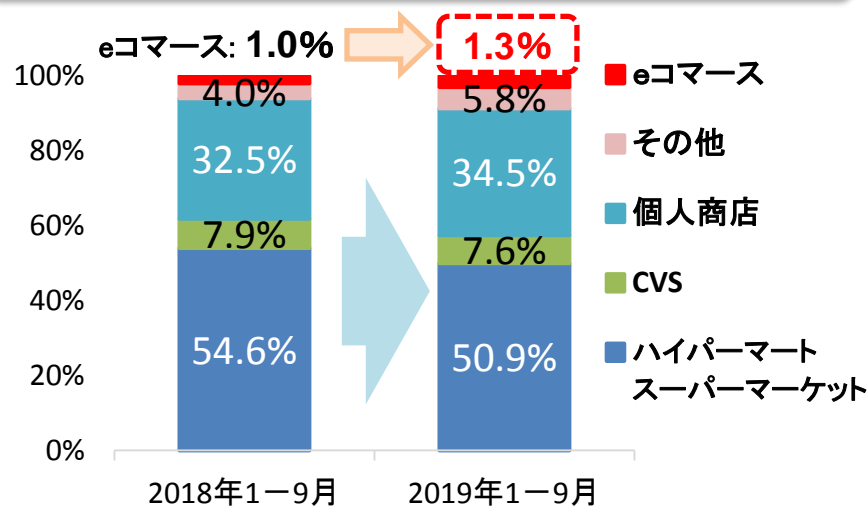
Yakult
(図 3)

国名	販売対象人口 (千人)	2019年 1~9月 販売実績 (本/日)	前年比 (%)	人口比 (%)	国名	販売対象人口 (千人)	2019年 1~9月 販売実績 (本/日)	前年比 (%)	人口比 (%)	
香港	8,180	534,842	96.4	6.54	ブラジル	101,290	1,562,390	92.7	1.54	
シンガポール	5,610	228,144	99.1	4.07	メキシコ	94,955	3,876,721	100.3	4.08	
インドネシア	200,000	6,204,472	108.3	3.10	アメリカ	327,490	376,606	112.2	0.11	
オーストラリア	24,500	252,194	102.3	1.03	米州計	523,735	5,815,717	98.8	1.11	
マレーシア	24,000	358,793	104.0	1.49	オランダ	17,285	160,077	94.1	0.93	
ベトナム	64,200	517,485	143.4	0.81	ベルギー	46,897	77,380	102.0	0.16	
インド	130,000	245,428	111.9	0.19	イギリス	70,897	193,703	96.4	0.27	
中国東	20,005	18,409	111.5	0.09	ドイツ	82,430	73,994	93.0	0.09	
ミャンマー	5,160	2,138	-	0.04	オーストリア	8,747	9,708	80.3	0.11	
中国	広州	84,490	3,063,696	102.3	3.63	イタリア	61,000	93,797	95.4	0.15
	上海	24,000	594,609	89.5	2.48	ヨーロッパ計	287,256	608,659	95.5	0.21
	北京	30,530	457,867	100.1	1.50	(連結合計)	2,024,796	22,942,734	102.9	1.13
	中国	593,130	4,040,281	102.2	0.68	台湾	23,151	706,367	93.5	3.05
中国計	732,150	8,156,453	101.1	1.11	タイ	66,410	2,200,766	96.1	3.31	
アジア・オセアニア連結計	1,213,805	16,518,358	104.7	1.36	韓国	51,650	3,156,310	94.3	6.11	
					フィリピン	91,400	3,221,358	104.2	3.52	
					(持分法合計)	232,611	9,284,801	97.9	3.99	
					合計	2,257,407	32,227,535	101.4	1.43	

中国の1日あたりの乳製品販売本数の推移



店頭チャンネル別販売占有率



「ハイパーマーケット、スーパーマーケット」の減少に対して

- ・「個人商店」の取引店舗数増加
 - ・「その他」として、学校、病院、など
新たな販売チャンネルを開拓
-
- ・「eコマース」市場は拡大しているが、チルド商品は限定的なため、価格と冷蔵物流が担保できる数社で展開
 - 市場の変化を注視し、柔軟に対応していく

宅配チャンネルでの取り組み

(1) ITシステムの導入

→ お客さまとの新たな関係づくり

- ・仕事の負担軽減化、効率化
 - SNS(WeChat)活用による受注
 - キャッシュレス対応により、お客さまの利便性向上



(2) 電動自転車の導入

→ 労働負荷の軽減



国際事業(中国3) 中長期的な取り組み

Yakult
(図6)

販売対象人口

	販売対象人口
2018年12月末時点の販売対象人口	7億1,824万人
2019年6月から販売を開始した支店 蘭州支店(甘肅省) 南通支店(江蘇省) 紹興支店(浙江省)	1,391万人増加
2019年9月末時点の販売対象人口	7億3,215万人

今後も毎年複数の販売拠点を開設し、
市場の拡大と深耕を進める

生産体制 (単位:万本/日)

2019年9月現在

工場名	生産本数	ヤクルト	ヤクルト ライト
広州第1工場	160	160	0
広州第2工場	200	160	40
上海工場	170	170	0
天津工場	350	270	80
無錫工場	220	140	80
佛山工場(3月)	160	40	120
無錫第2工場棟(6月)	160	160	0
合計	1,420	1,100	320



沿岸部では、販売拠点のドミナント戦略が進み、きめの細かい販売ネットワーク作りが進む

2022年4月 無錫ヤクルト第2工場稼働予定



2019年8月1日から、ミャンマー連邦共和国で「ヤクルト」の販売を開始

会社名:ミャンマーヤクルト株式会社 (Yakult Myanmar Co., Ltd.)

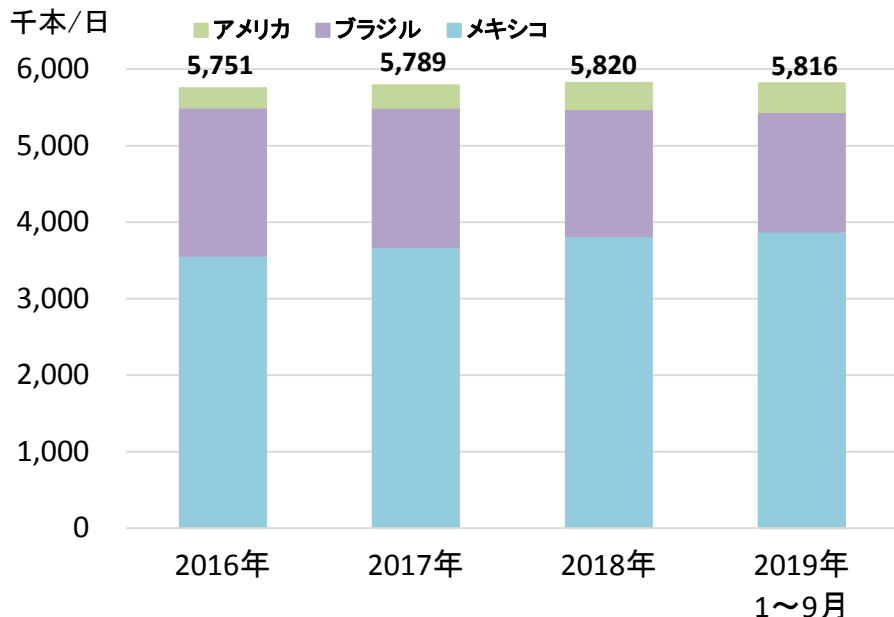
所在地:ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市郊外ティラワ経済特別区内



- ・販売地域: ヤンゴン市およびその周辺
※販売状況に応じて、順次、販売地域を拡大
- ・販売チャネル: ヤクルトレディによる訪問販売
スーパーマーケットなどの店頭販売
- ・販売目標本数: 18,530本/日
(2019年8月~12月の平均実績)

国際事業(米州)

米州の1日あたりの乳製品販売本数推移



米州の安定的な収益基盤は、メキシコが牽引している。

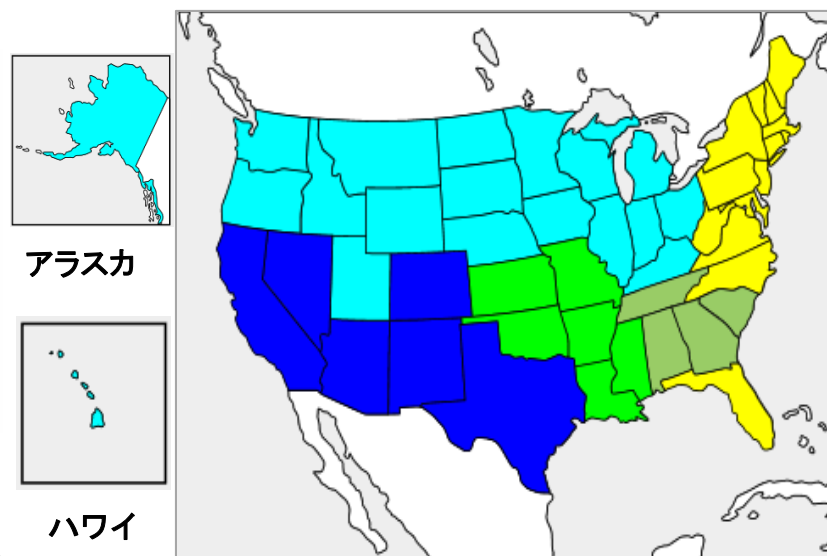
<メキシコ>

- ・ きめの細かい市場づくりにより、持続的な販売本数の伸長が続く。
- ・ インフレによる売上・利益の目減り分を、毎年の価格改定により低減。
(2019年2月宅配6%、店頭5.4%値上げ実施)

<アメリカ>

- ・ 2007年より本格販売を開始し、南西部6州で展開(現在も全体の成長ドライバー)
- ・ 現在、南西部6州で培ったノウハウを他のエリアに展開している。
- ・ 2019年7月から東部15州も販売対象に入り、段階的に全土へ拡大する。

- | | |
|--|--|
|  既存進出(6州) |  2017年6月以降に進出(6州) |
|  2016年以降に進出(19州) |  2017年11月以降に進出(4州) |
| |  2019年7月より販売対象(15州) |



	当初計画	修正予想	増減
カンプト	900	900	0
エルプラット	10,400	11,500	1,100
その他	6,200	6,600	400
売上高計	17,500	19,000	1,500
営業利益	▲1,400	▲1,000	400

修正予想の背景

- ・ 薬価改定
 - 10月からの薬価改定では、当初計画(7%の引き下げ)を上回る引き下げ率(12%)となった
- ・ エルプラット
 - MRを通じた情報提供活動が奏功し、当初売上計画を上方修正
 - 9月末における後発医薬品への置換率は51.3%(6月末50.6%)

今後に向けての取り組み

- ・ 他社とのアライアンス
 - 10月に日本セルヴィエ社と「イリノテカンリポソーム製剤」のプロモーション契約を締結
- ・ 新規後発医薬品の継続的上市
 - 6月に「カペシタビン」、「ゲフィチニブ」を上市
- ・ 他社からの導入品の展開
 - 昨年6月にベラステム社と「デュベリシブ」の日本における開発および商業化に関する独占的ライセンス契約を締結

Yakult(ヤクルト)1000

研究開発・技術力を結集し、「乳酸菌 シロタ株」を1本に1,000億個含む
ヤクルトの歴史の中で最高密度・最高菌数の乳製品乳酸菌飲料

当社初の「機能性表示食品」

- ・一時的な精神的ストレスがかかる状況での「ストレス緩和」「睡眠の質向上」の機能がある
- ・乳酸菌 シロタ株には、腸内環境を改善する機能がある



※希望小売価格：130円／本、910円／7本パック(いずれも税別)

販売地域：関東1都6県(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)

販売チャネル：ヤクルトレディによる訪問販売等

ヤクルト400W

“※シンバイオティクス”訴求タイプの「ヤクルト400」のシリーズ品

- ・生きて腸内に到達する「乳酸菌 シロタ株」が1本(80 ml)に400億個含まれている
- ・腸内のビフィズス菌を増やす当社独自素材の「ガラクトオリゴ糖」が1本に 5.0g 含まれている
- ・ヤクルトの風味を踏襲しながらも、継続飲用しやすいすっきりと健康感のある風味

※人の腸でよい働きをする乳酸菌やビフィズス菌などの微生物を「プロバイオティクス」、腸内の有用菌(ビフィズス菌など)の増殖を助けるものを「プレバイオティクス」と言います。「プロバイオティクス」と「プレバイオティクス」を組み合わせたものを「シンバイオティクス」と言います。



※希望小売価格：100円／本、700円／7本パック(いずれも税別)

販売地域：九州地区

販売チャネル：ヤクルトレディによる訪問販売等

より生産性の高い「宅配組織」づくり

宅配専用Web受注システム

労働環境整備



(オンライン入金システム)



(携帯端末)

処遇改善

- ・YLの福利厚生充実
(ヤクルトレディ健康ダイヤル、
介護相談サービス、
FP相談窓口開設等)



教育の充実

- ・コミュニケーション力の
向上、知識の習得
- ・成功事例の共有、一体感
の醸成



ヤクルト 届けてネット



- ・2018年9月より全国展開
- ・キャッシュレス対応(クレジットカード支払い)
- ・日中不在でも受け取り可
宅配専用商品を購入できる



当資料に掲載されている計画、見通しなどのうち、過去の事実以外は将来に関する見通しであり、不確定な要因を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要因によりこれら見通しとは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

当資料のいかなる情報も投資勧誘を目的としたものではありません。また、弊社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。万一、この資料に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いません。